

聖書日課 『**からし種**』 2019.1.13~1.20

<p><b>13日</b> <b>(日)</b></p> <p>ガラテヤ 4章</p>	<p>「神は、その御子を…律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは律法の支配下にある者を贖い出して、神の子となさるためでした」(4-5節)。パウロが伝えた福音。律法の下に生まれた私たちが神を「アッバ(お父ちゃん)」と呼べるほど、私たちが神と近く結びつけて下さった、キリスト・イエスの喜びの知らせ。</p>
<p><b>14日</b> <b>(月)</b></p> <p>ガラテヤ 5章</p>	<p>「<b>霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。</b>」(22-23節)。キリストと共に生きることは、愛の実践を行うこと。霊の導きに従って歩むことを禁止することは誰にもできない。律法の中心も「隣人を自分のように愛しなさい」(14節)。霊の実に結ばれる歩みを祈り求めて。</p>
<p><b>15日</b> <b>(火)</b></p> <p>ガラテヤ 6章</p>	<p>「<b>互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです</b>」(2節)。主の愛、優しさは、重荷を全て肩代わりしてくださるのではなく、わたしが負うべき重荷を示し、きちんと背負えるように励ましてくださるもの。自分の重荷を担いつつ、祈り合い、励まし合う生活を送りたいのです。</p>
<p><b>16日</b> <b>(水)</b></p> <p>エフェソ 1章</p>	<p>「<b>教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です</b>」(23節)。たとえ、艱難の中で主の恵みを見出すことができなくても、キリストの恵みは、すべてが始まる前からすでにわたしたちの上に注がれている。教会は主の恵みが満ち満ちている場所だとパウロは語る。</p>

メール配信登録メール [senforn.obc@gmail.com](mailto:senforn.obc@gmail.com) **大井バプテスト教会**

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

<p><b>17日</b> <b>(木)</b></p> <p>エフェソ 2章</p>	<p>「<b>実にキリストはわたしたちの平和であります。</b>」(14節)。 キリストによってもたらされる和解は、「生きる」ことにつながると、パウロは語る。キリストの愛によって生かされる時、外国人、寄留者などの分け隔ては壊され、キリストによってすべての民が結び合わされていることを知る。</p>
<p><b>18日</b> <b>(金)</b></p> <p>エフェソ 3章</p>	<p>「<b>わたしは御父の前にひざまずいて祈ります</b>」(14節)、「<b>どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、…あなたがたの心の内にキリストを住ませ、…愛にしっかりと立つ者としてくださるように</b>」(16-17節)。パウロは、自分がどのような状態にいてもエフェソやこれまで出会った教会を覚えて祈る。これが、キリスト者の交わり。</p>
<p><b>19日</b> <b>(土)</b></p> <p>エフェソ 4章</p>	<p>「<b>キリストにより、体全体はあらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされて…おのこの部分は分に依じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです</b>」(16節)。神の愛の内に招かれる私たち。希望は一つ。主は一人。信仰もバプテスマも一つ。わたしたちの全ては神につながっている。</p>
<p><b>20日</b> <b>(日)</b></p> <p>エフェソ 5章</p>	<p>「<b>愛のうちに歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を…ささげられたのである</b>」(口語訳:2節)。「愛のうちに歩きなさい」(Walk in Love) とパウロは語る。ただし「わたしの愛」ではなく、「キリストの愛」のうちに。「わたしの利益」ではなく、「隣人の利益」を祈る者とされて。</p>